

本校の地域連携・地域交流

富士吉田市立下吉田東小学校

愛染地蔵尊地域学習会を通じた地域の歴史を知る学習
～愛染厄除地蔵尊祭を主催する東町自治会の方々との連携による総合的な学習～

令和5年2月7日(火)・14日(火)実施

1 目的と経緯

愛染地蔵尊についての話を聞き、伝承してきた人々の思いや願い、富士山信仰や富士講について知り、自分たちが住む地域の歴史を学ぶことを目的とした。

本校では、第3学年の社会科における学習として行っていたが、現在は総合的な学習の時間の学習として行っている。

2 内容

1回目の学習は、東町自治会の方を講師として本講のお招きして学習会を行った。愛染地蔵尊の歴史や修復の経過、例大祭のあらましや内容について、お話を伺った。

2回目は、愛染厄除地蔵尊祭の2日目に、実際に現地に行った。まず、お堂前に整列し、順番に一人一人お参りをした。その後、1回目に学習したことを実際に見て確認した。

3 成果と課題

地域にある愛染地蔵尊が1482年に建立され、1885年に修復されて以来、130年余りが経過し、傷みが激しくなったため、7年前に1年かけて欠損している部分の修復を行いながら組み立てなおしたことなど話していただき、身近な地域の歴史を知ることができた。

郡内地域で唯一の厄除け地蔵尊として、毎年2月13日正午から14日正午にかけて大祭が行われ、安置されている地蔵尊の耳が開き、善男善女の願いを聞き入れ厄難を逃れることができると伝えられていることや富士北麓に春を呼ぶ行事として親しまれていることなど、児童も関心を持って聞き、知識を深めることができた。

地域文化の継承のため、3年生の学習にしっかり位置づけ、今後も学習会を継続していきたい。

